

MAENAN SAH Journal Vol.44

～『自分で考え、判断し、行動できる生徒の育成』をめざして～ May 23rd, 2024

令和6年度 第1回SAH非認知能力アンケート結果速報 (2024.4.22配信、2024.5.7回答〆切)

★校長より★

今回の非認知能力アンケートの★考察★を生徒の皆さんにもよく読んでほしいと思います。『非認知能力』について、皆さんがその意味、必要性をよく理解し、また、一つ一つの能力についてポジティブに捉え学校生活を送っていることがよく分かります。「自分の意思でやろうとする」という場面がこのアンケートから見え、たいへんうれしく思います。

また、「共感」、「親和」、「協働」の能力が平均値より高いと感じている人が多いことも、とても良いことだと思います。「主体的な行動」を行おうとしたとき、それが自分勝手な行動とならないために、これらの力はとても大切な力です。しっかりと対話し、お互いを認め合える関係を作り主体的な行動に挑戦していきましょう。

校長 原 拓史

<参考>設問1 あなたの学年を教えてください。

<参考>設問2 あなたのクラスを教えてください。

設問3 あなたは『非認知能力』とはどういった能力なのか、自分なりに説明できますか？



- 選択肢1 58人(10.02%) 自分なりにできる (5段階の5)
- 選択肢2 174人(30.05%) まあまあできる (5段階の4)
- 選択肢3 212人(36.61%) 少しはできる (5段階の3)
- 選択肢4 90人(15.54%) あまりできない (5段階の2)
- 選択肢5 45人(7.77%) できない (5段階の1)

	今年度4月	昨年度1月
全学年平均	3.19	新規設問
1年	2.83	のため
2年	3.42	比較データ
3年	3.35	なし
*全学年	580人	実施なし
*1年	197人	
*2年	197人	
*3年	186人	

★考察★

昨年のアンケートにはなかった新しい設問です。自分なりのコトバで説明できるかどうかは、『本当に理解できているかどうか』を表していると考えます。2, 3年生の平均スコアはさすがです！

まだ、説明できない生徒は、ぜひ4月に発行した『SAH Journal Vol.39』を読み直して理解を深めてくださいね！

設問4 あなたは『認知能力』と同様に、『非認知能力』がなぜ必要とされているのか、自分なりに説明できますか？



- 選択肢1 80人(13.79%) 自分なりにできる (5段階の5)
- 選択肢2 183人(31.55%) まあまあできる (5段階の4)
- 選択肢3 188人(32.41%) 少しはできる (5段階の3)
- 選択肢4 92人(15.86%) あまりできない (5段階の2)
- 選択肢5 37人(6.38%) できない (5段階の1)

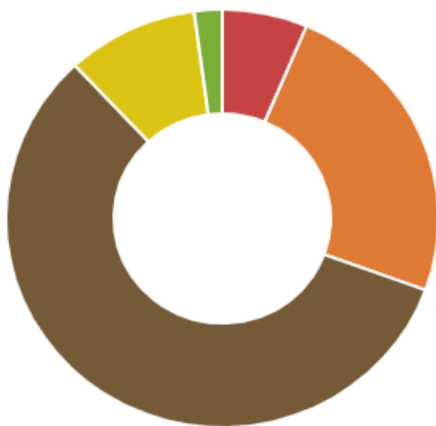
	今年度4月	昨年度1月
全学年平均	3.31	新規設問
1年	2.97	のため
2年	3.45	比較データ
3年	3.52	なし
*全学年	580人	実施なし
*1年	197人	
*2年	197人	
*3年	186人	

★考察★

これも新しい設問です。『認知能力』だけでなく、『非認知能力』の育成も必要である理由を説明できるかという設問の2, 3年生の平均値が『3.5』を超えているのはすごいことですね！目的を知っているからこそ、『非認知能力』を育成することに注力できるのです！説明に自信がない生徒は、まずは『SAH Journal Vol.39』を確認してください！

設問5 SAHの目的である『自分で考え、判断し、行動できる力』について、現時点でのあなたの自己評価をしてください。

未回答を含める 回答数 579



- 選択肢1 37人(6.39%) かなり高い方だと思う (5段階の5)
- 選択肢2 140人(24.18%) 高い方だと思う (5段階の4)
- 選択肢3 333人(57.51%) 平均レベルだと思う (5段階の3)
- 選択肢4 57人(9.84%) やや低い方だと思う (5段階の2)
- 選択肢5 12人(2.07%) 低い方だと思う (5段階の1)

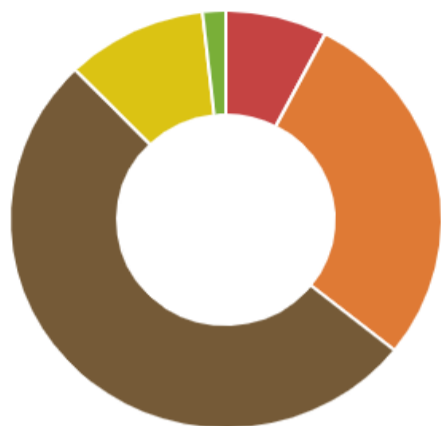
	今年度4月	昨年度1月
全学年平均	3.23	3.29
1年	3.13	実施なし
2年	3.25	3.29
3年	3.32	3.29
*全学年	580人	378人
*1年	197人	実施なし
*2年	197人	189人
*3年	186人	189人

★考察★

1年生の平均スコアも『3.0』を超えています！入試の面接でも『SAH』や『自分で考え、判断し、行動できる力』という表現をたくさん耳にしました。前南の取組を理解した上で、入試に臨んでくれてありがとう！

333人が『平均レベル』と回答していますが、謙遜している気がしますよ！そこに留まらず『突き抜けて』いってくださいね！

設問 6 本校のグランドデザインに掲げられている次の力について、現時点でのあなたの自己評価をしてください。①目標を持って主体的に取り組める力



- 選択肢 1 44人(7.6%) かなり高い方だと思う (5段階の5)
- 選択肢 2 163人(28.15%) 高い方だと思う (5段階の4)
- 選択肢 3 301人(51.99%) 平均レベルだと思う (5段階の3)
- 選択肢 4 61人(10.54%) やや低い方だと思う (5段階の2)
- 選択肢 5 10人(1.73%) 低い方だと思う (5段階の1)

	今年度4月	昨年度1月
全学年平均	3.29	3.29
1年	3.26	実施なし
2年	3.27	3.34
3年	3.36	3.23
*全学年	580人	378人
*1年	197人	実施なし
*2年	197人	189人
*3年	186人	189人

★考察★

この設問のスコアは学年間での差がなく、『3.3』～『3.4』とあまり変わりません。それだけ『目標』をもって高校生活を送っている生徒が多いのですね！

『主体的』というコトバも難しいですが、『自分自身の意志や判断に基づいて行動を決定する様子』と辞書にあります。『自分で自分の行動を決める』ことから始めましょう！

設問 7 本校のグランドデザインに掲げられている次の力について、現時点でのあなたの自己評価をしてください。②学びに向かう力 (主体的に学ぶ力)



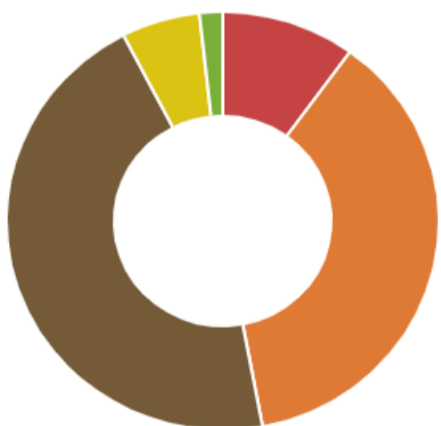
- 選択肢 1 44人(7.59%) かなり高い方だと思う (5段階の5)
- 選択肢 2 150人(25.86%) 高い方だと思う (5段階の4)
- 選択肢 3 297人(51.21%) 平均レベルだと思う (5段階の3)
- 選択肢 4 76人(13.1%) やや低い方だと思う (5段階の2)
- 選択肢 5 13人(2.24%) 低い方だと思う (5段階の1)

	今年度4月	昨年度1月
全学年平均	3.23	3.12
1年	3.45	実施なし
2年	3.06	3.05
3年	3.19	3.18
*全学年	580人	378人
*1年	197人	実施なし
*2年	197人	189人
*3年	186人	189人

★考察★

1年生のスコアを見て目玉が飛び出しました！すごい不是吗！！高校入試を終えて入学したばかりですが、『学び』に向かって努力している意識が現れているのですね。2, 3年生は、他の設問のスコアより低めなのが気になるのですが、高校総体が始まっている時期のアンケートであったことも影響しましたかね？笑 次に期待します！

設問 8 本校のグランドデザインに掲げられている次の力について、現時点でのあなたの自己評価をしてください。③困難を乗り越える力



- 選択肢 1 58人(10%) かなり高い方だと思う (5段階の5)
- 選択肢 2 215人(37.07%) 高い方だと思う (5段階の4)
- 選択肢 3 263人(45.34%) 平均レベルだと思う (5段階の3)
- 選択肢 4 34人(5.86%) やや低い方だと思う (5段階の2)
- 選択肢 5 10人(1.72%) 低い方だと思う (5段階の1)

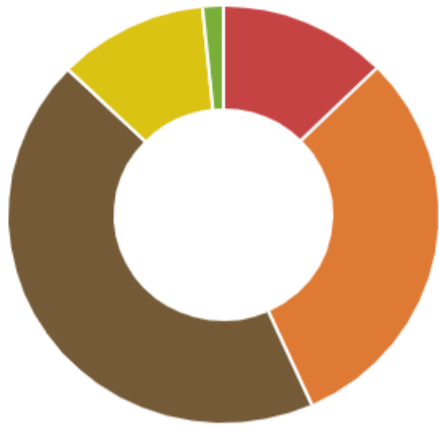
	今年度4月	昨年度1月
全学年平均	3.48	3.42
1年	3.51	実施なし
2年	3.44	3.38
3年	3.49	3.45
*全学年	580人	378人
*1年	197人	実施なし
*2年	197人	189人
*3年	186人	189人

★考察★

全学年のスコアに驚きました！前年生は『困難を乗り越える力』が高いのですね！1年生も入試を乗り越え、2, 3年生もさまざまな障害を乗り越えてきたことが、数値に現れているのですね！この調子でいけば『大学受験』もきっと乗り越えられるはず！または、社会に出てからもやっつけられるでしょう！そのときそのときに障害を乗り越えるためにはさまざまな『非認知能力』が必要なのよ！

設問 9 本校のグランドデザインに掲げられている次の力について、現時点でのあなたの自己評価をしてください。④粘り強く取り組む力

☐ 未回答を含めず ☐ 回答数 500



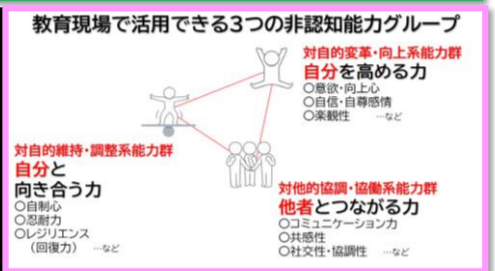
- 選択肢 1 73人(12.59%) かなり高い方だと思う (5段階の5)
- 選択肢 2 178人(30.69%) 高い方だと思う (5段階の4)
- 選択肢 3 255人(43.97%) 平均レベルだと思う (5段階の3)
- 選択肢 4 65人(11.21%) やや低い方だと思う (5段階の2)
- 選択肢 5 9人(1.55%) 低い方だと思う (5段階の1)

	今年度4月	昨年度1月
全学年平均	3.42	3.38
1年	3.47	実施なし
2年	3.36	3.37
3年	3.41	3.38
*全学年	580人	378人
*1年	197人	実施なし
*2年	197人	189人
*3年	186人	189人

★考察★
 前の設問と似ていますが、こちらは『継続する力』というイメージでしょう。1年生のスコアは本当にすごい！この意識のまま、3年間成長したらどんな大人になるのでしょうか？楽しみで仕方ないですね！
 すぐにはうまくいきませんから、『ねばり強く』がんばる必要があります。ある程度の時間と努力、それから『工夫』が必要ですね！この数値は立派です！！

設問 10 次の非認知能力等のなかで、あなたの能力が『平均値よりも高い』と自己評価できるものをすべて選択してください（複数選択可能）。

高いと思う	カテゴリ	非認知能力	低いと思う
280	他者連携	⑨共感力（他者の考えや意見、喜怒哀楽といった感情に寄り添うことができる力）	51
260	他者連携	④親和力（円滑な人間関係を築く力）	96
246	他者連携	⑤協働力（周囲の人たちと協力的に業務を進める力）	60
201	自己制御	⑦感情制御力（自分の気持ちの揺れをコントロールする力）	125
177	他者連携	⑩ユーモア力（言葉等によって、相手やその場を和ませたり、その場の空気を温かくする力）	112
173	自己制御	⑧自信創出力（ポジティブな考え方やモチベーションを維持する力）	144
172	他者連携	⑬交渉力（相手と話し合い、合意点を探る力）	71
167	他者連携	⑫柔軟性（変化に適応する力）	91
161	自己向上	①課題発見力（問題の所在を明らかにし、必要な情報分析を行う力）	135
145	自己制御	⑩レジリエンス（失敗や困難から立ち直る力）	124
142	自己向上	⑪創造力・想像力（あたらしいものを考えたり、作り出す力）	126
137	自己制御	⑬自己肯定感（ありのままの自分を肯定する感覚）	130
133	自己制御	⑮ストレスコントロール・楽観性・忍耐力・鈍感力（気に病まず、ものごとを進める力）	134
129	自己向上	②計画立案力（問題解決のための効果的な計画を立てる力）	221
129	自己向上	③実践力・実行力（計画に沿った実践・行動する力）	201
128	自己向上	⑰判断力（危機的状況や複数の選択肢が存在する状況で、効果的な意思決定を下す力）	98
116	自己向上	⑳労力対効果・効率実践力（コスパ・タイバなどを含め、効率よくものごとを推し進める力）	106
91	他者連携	⑥統率力（目標に向かって組織を動かす力）	169
86	自己向上	⑭発信力・発表力（自分の意見や考えをわかりやすく発表する力）	131
77	自己向上	⑨行動持続力（よい行動を習慣化させる力）	157

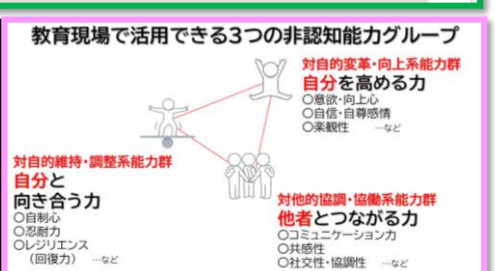


↑ カテゴリ分けの参考
 岡山大学准教授 中山芳一氏による3グループ

★考察★
 岡山大学の中山准教授の上の図の3つのグループを参考に『カテゴリ』分けをしてみました！『共感』『親和』『協働』というコトバは『他者につながる力』を連想させますね。『感情制御』も仲間とうまく連携していくためには必要です！『ユーモア』『交渉』『柔軟』というコトバもコミュニケーションには必要な資質・能力です！
 あなたの回答とこの結果を比較し、日常の意識付けに活かしてみてください！

設問 11 次の非認知能力のなかで、あなたの能力が『平均値よりも低い』と自己評価できるものをすべて選択してください（複数選択可能）。

高いと思う	カテゴリ	非認知能力	低いと思う
129	自己向上	②計画立案力（問題解決のための効果的な計画を立てる力）	221
129	自己向上	③実践力・実行力（計画に沿った実践・行動する力）	201
91	他者連携	⑥統率力（目標に向かって組織を動かす力）	169
77	自己向上	⑨行動持続力（よい行動を習慣化させる力）	157
173	自己制御	⑧自信創出力（ポジティブな考え方やモチベーションを維持する力）	144
161	自己向上	①課題発見力（問題の所在を明らかにし、必要な情報分析を行う力）	135
133	自己制御	⑮ストレスコントロール・楽観性・忍耐力・鈍感力（気に病まず、ものごとを進める力）	134
86	自己向上	⑭発信力・発表力（自分の意見や考えをわかりやすく発表する力）	131
137	自己制御	⑬自己肯定感（ありのままの自分を肯定する感覚）	130
142	自己向上	⑪創造力・想像力（あたらしいものを考えたり、作り出す力）	126
201	自己制御	⑦感情制御力（自分の気持ちの揺れをコントロールする力）	125
145	自己制御	⑩レジリエンス（失敗や困難から立ち直る力）	124
177	他者連携	⑩ユーモア力（言葉等によって、相手やその場を和ませたり、その場の空気を温かくする力）	112
116	自己向上	⑳労力対効果・効率実践力（コスパ・タイバなどを含め、効率よくものごとを推し進める力）	106
128	自己向上	⑰判断力（危機的状況や複数の選択肢が存在する状況で、効果的な意思決定を下す力）	98
260	他者連携	④親和力（円滑な人間関係を築く力）	96
167	他者連携	⑫柔軟性（変化に適応する力）	91
172	他者連携	⑬交渉力（相手と話し合い、合意点を探る力）	71
246	他者連携	⑤協働力（周囲の人たちと協力的に業務を進める力）	60
280	他者連携	⑨共感力（他者の考えや意見、喜怒哀楽といった感情に寄り添うことができる力）	51



↑ カテゴリ分けの参考（中山芳一氏）

★考察★
 『計画』『実行・実践』『統率』『行動』という『自分を高める力』系に苦手意識があるようですね。
 誤解をしている人がいるかもしれないので、ヒトコト言いますね。『成功』しなければならないわけではないですよ！『計画』も『実行・実践』も『やってみる』ということなのです！うまくいかなかったら、また『やりなおせばいい』のです。あきらめずに試行錯誤を繰り返すことも『行動持続』です！『修正しながらやり通す』でいいのです！

設問 12 あなたが自分の非認知能力を高めることができていると思う『場面』を選択してください（複数選択可能）。

高められている	非認知能力を育成する場面	高められていない
355	④部活動	38
251	⑥学校行事（準備期間含む）	40
235	①授業	185
222	②休み時間	114
134	③放課後	69
128	⑩休日	159
115	⑤生徒会・委員会活動	93
88	⑨帰宅後	191
75	⑦自主学習中	147
50	⑧塾	86

★考察★

全員が『部活動』をしているわけではありませんが、355人が『部活動』を選択し、みごと1位ですね。『学校行事』に関しては、現在『文化祭』に向けての話し合いや準備をしていることが影響しているのでしょうか。3位の『授業』ってすごいですね！『受け身』で参加していないことの現れですね！1月のアンケート結果にも出ていますが、最下位の『塾』と学校の『授業』では、なにがそんなに『異なる』のでしょうか？興味深い結果です！

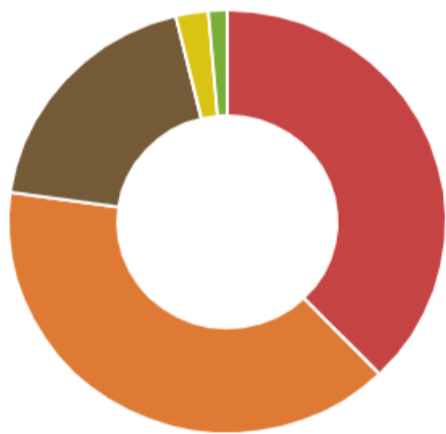
設問 13 あなたが自分の非認知能力を高めることがあまりできていないと思う場面を選択してください（複数選択可能）。

高められている	非認知能力を育成する場面	高められていない
88	⑨帰宅後	191
235	①授業	185
128	⑩休日	159
75	⑦自主学習中	147
222	②休み時間	114
115	⑤生徒会・委員会活動	93
50	⑧塾	86
134	③放課後	69
251	⑥学校行事（準備期間含む）	40
355	④部活動	38

★考察★

なんと1位は『帰宅後』なんです！1月でも1位でした！『帰宅後』には疲れてしまい、『寝る・趣味をする・休む』という生徒が多いのでしょうか。実は私も家では『休息・リフレッシュ・回復』ということに重きを置いている気がします。しかし、2位の『授業』はまずいですね！『帰宅後』と『授業』の両方を選んだ人は『ほぼ1日』終わってしまいます。『自由度の高い時間帯』こそ、非認知能力を伸ばす意識を持ちましょう！

設問 14 今後もあなたは『非認知能力』を意識し、高めていきたいと思いませんか？



- 選択肢 1 219人(37.76%) 強く思う
- 選択肢 2 229人(39.48%) まあまあ思う
- 選択肢 3 110人(18.97%) 思う
- 選択肢 4 14人(2.41%) あまり思わない
- 選択肢 5 8人(1.38%) 思わない

	今年度4月	昨年度1月
全学年平均	4.10	4.07
1年	4.17	実施なし
2年	4.10	4.14
3年	4.03	4.00
*全学年	580人	378人
*1年	197人	実施なし
*2年	197人	189人
*3年	186人	189人

★考察★

最後のこの設問のスコアは尋常ではありません！全学年『4.0』を超えています！本校の550人以上の生徒が『思う』以上の意識を持ってきていることに大変うれしく思います！こんなに『非認知能力』を意識している生徒が通う学校は、きっと『ウェルビーイング』も高いはずですよ！SAHの効果が出ています！すごい！今後は楽しみですよ！！

★教頭より★

ゴールデンウィークの慌ただしいなかでしたが、たくさんの生徒に回答いただきありがとうございました！促していただいた先生方にも感謝いたします！その甲斐あって、たいへんよい結果が出ていると思います！1年生には不利かと思いましたが、いやいや立派な結果です！2、3年生の結果もすごい！この先が楽しみで仕方ありません！生徒総会の際にも全校生徒の前でお話をしましたが、『なにか人の役に立ちたい』『少しでも自分がある場所をよくしたい』と思い、行動する姿勢を『Agency』と呼びます！そしてすぐに『よい結果』が出るはずもないですから、『うまくいかない』ことも経験するでしょう。そこから『這い上がる・立ち直る』ことも必要ですし、前回は『分析』し、『工夫』をしてみることも必要でしょう。仲間と『話し合う』ことも必要ですし、『意見が合わない時』には『さらに根気よく話し合う』ことも必要です。そしてそのさきに『うまくいく瞬間』が来たときには『ものすごい感動』を得られるはずです！このサイクルを経験すると『もう大丈夫』です！どんな案件でも、だいたいこのサイクルでうまくいきます！もう『無敵』ですよ！『うまくいかないこと』はたくさんあります。いや、むしろそればかりですね。しかし、『乗り越えた時』には『一生もののかけがえのないチカラ』が手に入ることをお約束します！がんばれ自分！がんばれ前南生！

教頭 星野 亨

